

# 陽ちゃん 聴く 耳ぼん



## グラウンドゴルフは 高齢者の元気の源

年齢とともに体力が衰え、病院通いが日課になる日々。そんな中、グラウンドゴルフは適度な運動で、仲間と楽しく交流でき、高齢者の生き甲斐となり、健康増進に役立っています。雨や雪の日でもグラウンドゴルフができるG・G施設が、宍粟市に実現できる日を、多くの仲間と心待ちしています。

佐用町笹ヶ丘の室内G・G場は、遠すぎて、年一回の使用のみです。いっぽう、香寺町のG・G場には、いつ、誰が、何人で行っても使用できるグラウンドがあり、ホールポットの旗も常設されており、さらに無料です。

「こんな施設が、もっと近くにあればいいのに」と言いながら、仲間と香寺町までときどき行って楽しんでいます。

(山崎町 78歳 女性)



## 学力向上へ！ 3月本会議で大久保陽一が質問

学力向上へ、具体的なとりくみを！

臨時職員さんの待遇改善と雇用の安定を！

**質問 大久保陽一**  
平成30年度全国学力・学習状況調査(全国・兵庫県の平均を下回る)結果をふまえ、教育委員会として、学力向上のための、より具体的かつ即効的な対応(学習内容の理解が不十分な子どもたちへのより手厚い手立てや、学校の先生が教材研究や授業に集中できる業務改善など)を考えられたい。

**答弁 教育長**  
しろう学力向上検討委員会を定期的に開催し、しろう学力向上グラウンドルールを作成し、市内一斉にとりくんでいる。学力向上はすぐに結果が出ないけれども日々の継続的などりくみによつて、成果を出したい。また、先生が十分な教材研究ができるよう、業務改善を行っていく。

宍粟総合病院の経営健全化を！

**質問 大久保陽一**  
宍粟総合病院の事務部門において、専門性の高い病院事務専門職員の育成が必要だと考えるが、市の考えを問う。

**答弁 福元市長**  
現在の病院事務部門職員も専門性を持ち成長しているが、今後は、医療の専門的な方の採用も考えていきたい。

**質問 大久保陽一**  
2020年4月より導入される「会計年度任用職員制度」が、臨時職員さんの待遇改善と雇用の安定につながるなければならない。市の考えを問う。

**答弁 企画総務部長**  
会計年度任用職員の勤務条件等に関する条例を9月議会に上程する。また、職員組合とも協議をもち、対象となる臨時職員さんにも新たな勤務条件などを説明していく。待遇改善と雇用の安定につなげていけるよう、今後も検討していきたい。

**質問 大久保陽一**  
公共交通機関を利用して西播磨または中播磨地域以外に通学する高校生にも、大学生・専修学校生同様、定期券購入費用の一部を助成してはどうか。

**答弁 市長**  
高校生への定期券購入費用の助成は、現段階では難しい。

# ママのぼん



## 山崎幼稚園の一角にある「さつき学級」を訪ねて

大久保陽一が、初めて訪問させていただいた「さつき学級」。宍粟市のすべての子どもたちの学びを保障するため、さまざまな支援を必要とする児童・生徒が過ごす場所として、山崎幼稚園の敷地に併設されている。

指導員の仲嶋先生を訪ねると、ほうきを手に掃除をされながら、「よう来たな」と、私を迎え入れてくださった。部屋でお話を聞かせていただく。

「さつき学級に通級すると、学校の扱いはどうなるのですか？」と大久保陽一が尋ねると、仲嶋先生より「さつき学級は、宍粟市教育委員会の事業なので、ここに来れば学校は出席扱いになるよ」との説明があった。

「さつき学級」は、さまざまな事情で少し登校しづらい児童・生徒が、自分らしく安心して過ごせる場所であり、学校と子どもたちの家庭とをつなぐ中間の居場所なのだと感じた。

部屋の壁に目をやると、2007年のデイリースポーツの大きな記事が貼られていた。その見出しには、「学校へ行け」とは絶対言わんとあつた。「さつき学級」の初代指導員、亡き鈴木三千翁先生の言葉だった。学校を強制することなく、自分の夢を自分で見つけさせた。その精神は、野崎先生、新庄先生に引き継がれ、現在は、仲嶋先生と上山先生がささえてくださっている。

初代の鈴木先生の思いが生き続ける「さつき学級」。ここに来て良かったとの思いと元気を頂いて、部屋を後にした。



(「さつき学級」にて仲嶋先生と大久保陽一)

# あつた Voice

☆「宍粟市の空き家対策が前進します」

「隣の空き家から瓦が落ちかかって危険な状態。何とかしてほしい」「葛や木で覆われた空き家から木の葉などが降り注いで困っている」全国の空き家数は約1000万戸にのぼり、宍粟市の空き家状況も、深刻さが増しています。

「市民の生活環境を守って」「危険空き家対策を進めて欲しい」との声が高まる中、平成30年9月議会において、大久保陽一は「宍粟市の空き家対策について」の一般質問を行いました。

本会議では、空き家対策は宍粟市にとって重要な課題であり、より有効な空き家対策を行っていくことが確認され、宍粟市は、平成30年10月より、市内の空き家実態調査を開始しました。

平成31年3月議会において、宍粟市の空き家対策を進める条例改正案が市長より提出され、大久保陽一は、「条例改正に至る背景や空き家等対策計画の策定期間など」を本会議場で明らかにしました。

本年6月には、宍粟市空き家等対策協議会が設置され、2019年度中に空き家等対策計画が作成されます。

市民の「声」が市政を動かします

## 「さつき学級」編集部

☆皆さまの生の声を大久保陽一にお聞かせください。

大久保陽一後援会では、車座集会・懇談会・座談会・茶話会・井戸端会議の開催を、随時募集しています。市内のどこにでも大久保陽一を向かわせます。大久保陽一は、宍粟市の皆さまの声を、直接、聴かせていただき、市政に届けます。ぜひ、お声掛けください。

